

令和5年  
(2023年)  
9月

# ゆりー



米原区の人口及び世帯数  
令和5年8月末現在  
戸数 1,158 世帯  
人口 2,758人  
男 1,360人 女 1,398人

### 区の行事予定

#### 9月

- 5日(火) ミニ・デイサービス
- 6日(水) OCR 調査
- 8日(金) 審議委員会
- 21日(木) 千尋会定例会

#### 10月

- 3日(火) ミニ・デイサービス
- 13日(金) 審議委員会
- 19日(木) 千尋会定例会
- 29日(日) 米原区敬老会

## 第36回米原区敬老会



日時: 10月29日(日) 午後3時

場所: 米原公民館

\*80歳以上の方(自治会員)は、**無料です** ⇒ 2時半 写真撮影開始

※ 班長さんの負担軽減のため、これまで配布していたピンクチケット、青チケットは今回は配布せず、敬老会当日、受付で確認対応いたします。  
また、開催の度に余りがちな弁当のコストを軽減するため、今回から申込制といたします。参加を希望される方は、お手数ですが10月25日までに公民館にご連絡下さい。(☎973-3431)

システムが以前とは変わりますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

### 今月の徴収金

区費	1,000
防犯灯負担金	150
合計	1,150円

### 区内クリーン作業、お疲れ様でした

8月20日(日)に区内清掃を行いました。うだるような猛暑の中、厳しい作業ではありましたが、60人余りの区民が、汗だくになって作業を頑張ってくださいました。大変ありがとうございました。おかげさまで区内がきれいになりました。

お願い: もっと多くの区民、特に若い方々や米原区に新規加入した方々の参加を切に希望します。 <多くの手は、仕事の負担を軽くします>

### ラジオ体操でさわやかな一日がスタート

公民館での「夏休みラジオ体操」に参加した4人の小中学生の皆さん、よく頑張りました。朝早くからの活動は、きっと充実した一日につながったことでしょう。また、日替わりで世話をいただいた小谷良輝さん、和宇慶朝一さん、石川清勝さん、金城美江子さん、お疲れさまでした。来年は、コロナ前のように大勢の大人や子供達が参加してくれることを期待しています。

### ありがとうございます

・3班の福地心一様(浄福寺)より、飲み物とお菓子の寄贈がございました。

### 千尋会から日程変更のお知らせ

- ① 毎月の定例会・役員会 第2火曜日午後2時⇒⇒⇒第3木曜日午後2時
  - ② ピクニック 9月⇒⇒⇒11月 ③ グラウンドゴルフ 11月⇒⇒⇒12月
- ※市老連・具志川支部日程変更や熱中症を避けるためです。ご理解をお願いします。詳細は、後日連絡いたします。 千尋会会長 石川清勝

「人生100年時代の到来」と云われる今、ますます元気でカジマヤー、トーチカのトゥシビーを迎えられる我が米原区の大先輩方をご紹介します。



#### <カジマヤー>

島袋 太郎様 (2班)

#### <トーチカ>

- 小谷 良之様 (1班)
- 照屋 ツネ様 (1班)
- 高江洲静子様 (1班)
- 宜野座静子様 (3班)
- 和宇慶朝全様 (5班)
- 友寄キヨ子様 (5班)
- 佐久本光子様 (7班)
- 知念 郁子様 (7班)
- 祝嶺 敏子様 (7班)

今後とも、健康で笑顔に満ちた日々を過ごせますように!皆様、誠におめでとうございます。



### 種ジャガイモの注文が始まっています!

×切日九月二十六日(火)  
品種: 熊本産ニシユタカ  
価格: 3,170円予定

納期: 十月中旬

百歳体操やってます ☺

毎週月曜日・木曜日午前10時〜11時  
六十五歳以上の方ならどなたでも参加オッケーです。



七月の審議委員会の審議事項(八月十八日(金)開催) 敬老会について  
敬老会の準備は、「敬老会実行委員会設置規程」に基づいて進める。実行委員への協力依頼は事務局に委ねることとする。  
開催時間については午後三時から五時までとし、八十歳以上の招待者の方々は、午後二時までに公民館に来ていただき、一時半に記念写真撮影を行う。  
地域の活性化を図る観点から、区民の方々による余興を優先する。一方、従来とは異なる趣向として、プロの出し物も楽しんでもらう。  
余興に出ていただく区民やプロの方への出演依頼などについては、事務局が担当する。  
九月の審議委員会までには、プログラム内容をある程度確定し十月に実行委員会を開催する。

したいひゃー、またんせーるむん！ 第19回うるま市畜産共進会(8月23日、石川多目的ドームにて開催)で、3班の宜野座嗣敏さんとその家族が“肉用牛”の3部門で「優等」を獲得



しました。今や同共進会の上位入賞の常連となった宜野座家のメンバー。区内の至るところで牧草を刈り取る姿を目にします。野生のオーロックと云う牛のご先祖様を人間が家畜化してできた現在の牛。それを更に進化させ全国に嫁がせている宜野座カーボイズ。牧草を満載した軽トラ11-29(いい肉)を見かけたら、宜野座ファミリーだ。拍手喝采！！

米原は、牛だけではないんです。左記の共進会では、牛と共にヤギのコンテストもあり、5班の和宇慶宏さんファミリーの一員である「あいる」ちゃん、3歳もヤギ部門で 堂々の「優等」を



勝ち取りました。ニュージーランドにルーツを持つ「あいる」ちゃんは、宏さんが栽培する野菜やプレミアム乾燥草とブレンドパンなどを食べる中々のセレブとのこと。今では、近隣保育園児や外人さんなどが訪れる癒しの新スポットだ。「将来は、白ヤギ達にふさわしいホワイトハウス並みの家を作り、一緒に暮らすのもいいかも」とは本人の弁。ヤギの方が「ベー」と拒否するかも知れないが?!

## ～へー、そうだったのかー！(パート63)～

### —米原の米寿メンバーで米米クラブ結成?—

今年もめぐってきましたカジマヤー、トーカチ祝い。米原には、お1人がカジマヤーを祝い、9人の方がトーカチを迎えます。その中から、今月はトーカチの4名様をご紹介します。

トップバッターは1班の照屋ツネ様。昭和11年10月11日、糸満市福地で生を受ける。4人姉妹の3女で、昭和28年、コザ十字路近くにあった塗装関係の職場で出会った寛一さんと結婚。娘3人、息子2人、孫7人に恵まれた。賑やかなことが何よりも好きだと云うツネさんは、公民館や「うるみん」でも琉舞を習ったりと飛び回っていた。みそ汁が大好きで、特にアーサ、豆腐、ワカメが入っていれば大いに満足。もちろん、自分で料理するし、市販の総菜は塩辛くてNG。何と云っても「手作り」が一番だとのこと。健康の秘訣を伺うと、「動くこと。庭の花木へ水をやったり、座って〔足踏み〕をしたりと適度に動くことが大事。それと、食事でも気を付けること」と返ってきた。



サッカーや野球などのスポーツ観戦が好きで、特にWBCで活躍したヌートバー選手が大のお気に入りの様子。インタビュー中、同選手の名前を何度か口にするとツネさんは、完全にヌートバー選手に魅了されているようであった。60代に夫婦と親戚の人達と、3泊4日で由布院を訪ねたのが一番の思い出。そこで体感した大自然の大いに感動したと云う。これからも、「子や孫に世話をかけないよう健康でいたい」と締めくくった。

次は、7班の祝嶺敏子様。昭和11年9月10日、上平良川で生まれた。賢徳さんとの間に息子4人と1人の娘があり、更に孫が8名の幸せおばあちゃんだ。花を育てるのが大好きで、琉舞は見るの



も踊るのも好き。料理教室に通うのも好きな多趣味な敏子さん。コロナで「やーぐまいばかりで、ボケそうだよ。おしゃべりでもしたいさあ。長生きしたいけど、必ず迎えがくるからねー」と達観したかのように笑い飛ばした。好きな食べ物はイモ類、チョコレート、ケーキなどの甘いもの。「血糖値を上げて、病院もーきらちょーん。でも、生きているうちに食べないと損するさあ」と更に笑いのギアを上げた。

健康の秘訣は、太陽の下、トラック1台分のウージ畑で体を動かすこととガーデニング。好きな花を植える敏子さんと食べられるものしか植えない賢徳さん。うかうかしていると花を捨てられてしまう、とチョット不満そうな敏子さんだが、愉快的な夫婦であることに変わりなし。長男と次男は本土に住んでいるが、3男と長女は隣に住んでいるため、時々一緒にドライブに行ったり食事を楽しんだりしていると云う。「(人間は)なんで年取るかね～、取らなければいいのにね～」と言いながら、今度は少し寂しそうに笑った。

最後に「早くコロナが落ち着いて、友達などとおしゃべりができる以前の生活が待ち遠しい」と結んだ。

次に控えしは、1班一3の高江洲静子様。昭和12年3月24日、サイパン島で出生。8歳の時に栄野比に移り住んだ。男2名女7名の兄弟姉妹の4番目。美容学校に通っていた23歳の頃、ダンス教室で知り合った旦那さんと結婚。息子2人と娘2人を儲けた。孫は男だけ9人でひ孫は10人(男7人、女3人)。静子さんの兄弟姉妹は、牛、豚、鶏を飼っていた父親のヘルパーとして、芋を掘ってから学校に通っていたと云う。

最後に「早くコロナが落ち着いて、友達などとおしゃべりができる以前の生活が待ち遠しい」と結んだ。

最後に「早くコロナが落ち着いて、友達などとおしゃべりができる以前の生活が待ち遠しい」と結んだ。



バレーボールが得意な静子さんは、川崎小中学校で中衛センターとして、運動神経の良さを存分に発揮したようである。中センというポジションは、レシーブやトスで右に左に動き

回る重要な役を担っている。9人兄弟姉妹の中でも9人制バレーの如く、上と下との間を上手くバランスをとっていたのではと想像する。

魚類や果物が好きな静子さんのお気に入りの俳優は、大岡越前役を演じた加藤剛だと云う。「感謝」という言葉が好きで、「他人に対しては常に感謝の気持ちを持ちなさい」と子供たちへ教えたと云う。最近は、アルバムを広げ、昔を思いながら写真に見入っている静子さんは、皆に感謝しながら孫たちと遊ぶことを今後の楽しみにしている。

最後に登場するのは、5班の和宇慶朝全様。昭和11年10月6日、男3人、女3人の長男として平良川で生まれる。職場で知り合った敏江さんと32歳の時結婚。息子2人、娘2人、孫9人、ひ孫1人に恵まれる。中学生の時からトランペット奏者であった朝全さんは、19歳～32歳まで米軍のクラブなどでトランペットを吹きまくった。弱冠二十歳の頃、当時では非常に少なかった車を購入したと云う。(近くに住んでいた私も、60年ほど前、あかんちゃーでこぼこ道の穴にタイヤを取られた朝全さんの車を、何人かで押し上げたことを覚えている。)



若い頃は、音楽仲間5～6人と那覇市牧志で生活したこともあり、アメリカジャズの巨匠アームストロングやチャットベーカーに心酔していた。その後、土木の2級免許を取得し、港(主に漁港)工事の現場監督の経験も積んだようである。

三線、釣り、花の栽培が趣味の朝全さんの健康の秘訣は、早起きして水を一杯飲む、食事は腹七分でよく噛む。そして、晩酌を楽しむ。様々なわだかまりを捨て、一番大事な奥様に愛情を注ぎながら、皆が健康で平穏であることを常に願っている、と語った。

～へー、そうだったんだ！～